

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330332074	こども文学 Juvenile Literature	宮武里衣	✓	専門	2	選択	3後期
科目の概要							
こどもの生活学科の教育目標は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして、子どもたちの学力及び社会性の基礎・基本を育てることによって、子育てを支援できる人材を育成することにある。そこで、この科目では、文学との関わりが子どもの成長に大きく影響するという前提のもとに、児童文学の歴史を学んだ後、代表的な児童文学作品を読み、子どもと作品との関わり方を考察する。最終的には、講義で得た知識を基にして、幼児・児童の発達段階を意識した物語を創作する。DP②の中の「教育現場での専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができる」に直結する科目である。授業者は、公立学校で国語教育の経験がある。							
学修内容				到達目標			
① 児童文学の歴史など、児童文学を理解するための基礎的知識を身に付ける。 ② 児童文学作品を分析・評価しながら読む。 ③ 児童文学作品の中から分野を一つ選び、読み聞かせ用の物語を創作する。				① 児童文学の歴史など、児童文学を理解するための基礎的知識を獲得している。 ② 獲得した児童文学についての知識を、読むために分析・評価することで活用できる。 ③ 読み聞かせ用の物語を創作し、保育・教育現場での児童・幼児の読解力の解決に役立てる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	物語創作の工夫を積極的に進めることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	課題を最後までやり抜くことができる。					
考え抜く力	課題発見力	講義の内容やグループ活動等で得た情報を整理し、より良い創作物語について課題を見出すことができる。					
	計画力						
	創造力	課題や問題提起に対して、さまざまな方向から柔軟に考え、意匠を凝らして創作物語を完成することができる。					
チームで働く力	発信力	調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で発表することができたり、個性的な物語を創作できる。					
	傾聴力	講義の内容や他者の意見をよく聴き、それを基にして、自分の見解を持つことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席や遅刻をすることなく、期限を守って課題提出できる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
教科書『児童文学の教科書』川端有子 玉川大学出版(2013) 教科書以外に適宜授業プリントを用意する。							
他科目との関連、資格との関連							
「こども文学」は専門科目、幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目の一部である。「保育内容(表現B)」「保育内容(環境)」で獲得した知識・技能を活用する。また、「こども文学」は、その後に履修する「こども表現(図画工作)」の基盤となる科目である。保育士資格・幼稚園教諭免許との関連がある。							
学修上の助言				受講生とのルール			
学内図書館や公共図書館で、絵本や児童文学に多く触れるようにするとよい。 授業内容を「ワークシート」に毎回まとめて振り返ることで、学修成果があがる。				遅刻3回で欠席1回とする。講義中に指示のない限りスマホを使用しない。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①		<p>知識の獲得45% 授業中に行う小テストで評価する。 評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を正確に理解している。 ・講義内容について自分の考えを持てる。 <p>知識の活用25% 学期末に提出する児童文学についてのレポートで評価する。 テーマ「児童文学の歴史」 評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いに答えている。 ・論理に矛盾がない。 ・講義の内容を理解した結論になっている。 ・文章表現に間違いがない。 <p>知識の解決20% 学期末に提出する創作物語と、創作に至る授業内でのワークシートで評価する。 テーマ「対象年齢を明らかにして、物語を創作せよ」 評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が発達段階にふさわしい。 ・語彙の選び方が対象児童・幼児に適している。 ・あらずじに工夫が見られる。 ・登場人物の設定に独創性がある。 ・ジャンルの特徴を生かしている。 <p>(主体性) 物語創作に積極的に向き合おうとしている。 (実行力) レポートや物語を書くことができ、提出できる。 (課題発見力) 講義内容を踏まえて新しい課題を見つけることができる。 (創造力) 授業における気づきを整理し自分なりに留意点が書き留められる。 (発信力) 必要な時に、意見を述べ、工夫した読み聞かせができる。 (傾聴力) 他者の意見への共感や疑義を表明できる。 (規律性) 講義に集中することができ、期限を守って課題提出できる。 上記の能力要素のレベルに則り評価する。</p>	
			②			
			③			
	平常評価	小テスト	45	①		✓
				②		✓
				③		✓
		レポート	25	①		✓
				②		✓
				③		✓
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓			
		②				
		③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) Aの基準を十分満たしている上に、個性的な工夫がされている。絵本の歴史について自分なりの見解をレポートに示している。</p> <p>A (優) 児童や幼児にふさわしい創作物語を作成できる。子どもの発達段階を考慮した内容になっている。絵本の歴史を史実との関係で理解している。</p>	<p>B (良) 児童や幼児を意識した創作物語を作成できている。絵本の歴史の流れがわかっている。</p> <p>c (可) 物語を作成している。絵本の歴史をまとめられる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・授業の目標、進め方を知る。 ・児童文学のジャンルと大まかな特徴を理解する。	講義 グループ討議	児童文学のジャンルを理解できている。	(予習) 学泉ノートを読んで、学修に向かう心構えを確認する。 (復習) 自分の読書の足跡を振り返る。 (ワークシート)	100	主体性 規律性
2	「伝承の文学①」 伝承文学について、その特徴と内容を理解する。	講義 グループ討議	伝承の文学の特徴と歴史を大筋で理解できている。	(予習) 伝承の文学の定義を調べる。 (復習) 岡崎の伝承文学を読んで、感想を書く。(ワークシート)	100	課題発見力 規律性
3	「伝承の文学②」 伝承文学の歴史を理解する。	講義 グループ討議	伝承の文学の歴史を大筋で理解できている。	(予習) 伝承の文学の歴史を調べる。 (復習) 伝承文学の歴史をまとめる。(ワークシート)	180	主体性 傾聴力
4	「日本の絵本」 その成立を歴史的に理解する。	講義 グループ討議	日本の絵本の歴史を大筋で理解できている。	(予習) 絵本の定義を調べる。 (復習) 日本の絵本の歴史をまとめる。 (ワークシート)	180	実行力 発信力
5	「欧米の絵本」 欧米の絵本の歴史の中世まで理解する。	講義 グループ討議	中世までの欧米の絵本の歴史を大筋で理解できている。	(予習) 欧米の絵本の中から好きな絵本を決めておく。 (復習) 振り返りシートで歴史をまとめる。 (ワークシート)	180	課題発見力 発信力 状況把握力
6	「絵本の読み聞かせ①」 読み聞かせの方法を学ぶ。	講義 発表	絵本の読み聞かせを楽しんでやれる。	(予習) 好きな絵本を決めておく。 (復習) 絵本の読み聞かせ振り返りシートをまとめる。(ワークシート)	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力
7	「絵本の読み聞かせ②」 読み聞かせ①で学んだ方法で実践する。	講義 発表	絵本の読み聞かせを上手にしようとする。	(予習) 読み聞かせる絵本を選定する。 (復習) 家族に読み聞かせる。	180	主体性 働きかけ力 傾聴力
8	「ファンタジー①」 ファンタジーの分類と定義を学ぶ。	講義 グループ討議	ファンタジーの定義と四つの分類が理解できている。	(予習) ファンタジー作品を探す。 (復習) 第1分類のファンタジー作品を読んだ感想を書く。 (ワークシート)	180	課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「ファンタジー②」ファンタジーの作品に触れる。	講義 グループ討議	ファンタジー作品を楽しんで読める。	(予習) 読みたいファンタジー作品を選択する。 (復習) 第3分類のファンタジー作品を読んだ感想を書く。(ワークシート)	180	課題発見力 創造力
10	「欧米の絵本②」欧米の絵本の歴史の近代以降を理解する。	講義 グループ討議	近代以降の欧米の絵本の歴史を理解できている。	(予習) 第5講の内容を整理する。 (復習) 振り返りシートで歴史をまとめる。(ワークシート)	180	主体性 発信力
11	「子どもの本の周辺」子どもの本の販路、読書時間など、現在の子ども本についての問題を学ぶ。	講義 グループ討議	子どもの本について関心をもっている。	(予習) 子どもの本の関連ニュースを新聞記事から探す。 (復習) 子どもの本の周辺について考えことをまとめ、課題の材料とすねる。(ワークシート)	180	課題発見力 発信力
12	「物語創作①」創作物語のジャンルの決定、あらすじを完成させる。	講義 グループ討議	子どもの発達段階に合わせた物語のあらすじを完成できる。	(予習) 作りたい物語のアウトラインを考える。 (復習) あらすじ構想シートを記入する。(ワークシート)	180	課題発見力 創造力
13	「物語創作②」登場人物のキャラクター設定とページ配分を決定する。	講義 グループ討議	子どもの発達段階に合わせた登場人物のキャラクター設定ができる。	(予習) 作りたい物語のキャラクターを考える。 (復習) キャラクター設定シートを完成する。(ワークシート)	180	計画力 創造力 傾聴力
14	「物語創作③」創作物語全文の完成、語彙の推敲をする。	講義 グループ討議	子どもの発達段階に合わせた物語の語彙を選択できる。	(予習) 子どもの発達段階に合わせた語彙を調べる。 (復習) 物語を完成する。	180	計画力 創造力 発信力
15	クラスルーム上で創作物語の発表会をし、相互評価する。	オンデマンド	創作物語を完成し、相互評価に参加できる。	(予習) 発表できるように物語を整える。 (復習) 子どもの発達段階を意識した物語を読みなおす。	180	課題発見力 計画力 傾聴力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力